

事例研究報告

**特別支援学校高等部の生徒に
友だちとの適切な関わり方を
教える**

保護者の願い



してはいけないと分かっていることは、我慢できるような人になってほしい。

教員の考え



異性への問題行動をなくし、同性の友だちと過ごして欲しい。

生徒の実態

- 高等部知的障がい。
- ポジティブでプラス思考。
- 注意されたことはすぐに忘れる。
- 異性への興味関心が非常に強い。
- 出川哲朗が大好き。

☆ 異性が近くにいると…

- ✓ テンションがあがり、会話に入ったつもりで一人で喋る。
- ✓ 話しかけられただけで自分のことが好きだと思う。
- ✓ 授業に支障をきたすぐらい、注目してしまう。

☆ 同性との関わり…

- ✓ 同性生徒についての働きかけが少ない。
- ✓ モテる同性はムカつくのでいたずらしたくなる。

問題行動の記録

日	時間	場所	内容	教師
4/20 (水)	昼休み	トイレ	同性のトイレをのぞく。	不在
4/21 (木)	昼休み	トイレ	同性のトイレをのぞく(2回), ドアを叩く。	不在
5/12 (木)	昼休み	教室	ホームルームの女子の頭をたたく。 男子に坊主という。	不在
6/9 (木)	5校時	高ホール	Aさんのバケツの方がきれいだったので, 奪い取って自分の汚いバケツと交換。それを注意され, しばらく授業を見学。 見学中, 反省なく, 退屈なので万歩計を振り回す。	在 (遠)
6/17 (金)	帰り	更衣室	更衣室でBさんの腕や手をしつこく触る。「やめて」と言われてもやめなかった。	不在
7/6 (水)	帰り	更衣室	「Cさんが私を蹴った」とDさんに嘘をつく。	不在
7/8 (金)	帰り	更衣室	「Cさんに私がすっぽんぽんで着替えよるって言うてきて」とEさんに言う。	不在

計 9 回

アドバイザーからの助言



「ずっと近距離での支援を」

- 常に教師と行動を共にし，問題行動の際を
与えない→お互いの良き相棒となる。
- 問題行動のあったトイレと更衣室は場所を
変更する。
- 教師と一緒にいることができない時は
 - ☆ 近くの場所で仕事を頼む
 - ★ 相棒活動ができたときに賞賛の言葉や
ご褒美を提示し，良い行動の強化をする。

指導1-1: 相棒プロジェクトとポイントシステム

～担任が入っていない体力づくりの時間～

①担任が教室で仕事をする傍らで仕事(洗濯たたみ, 連絡帳用プリントの穴開け)をする。

②決められた数をする事ができたら終了。残りの時間は好きなこと(絵を描く)をして過ごす。

③仕事を1回するごとにスタンプ。

- ・スタンプが5個集まるとミニシールゲット→ミニシール
- ・10個目でビッグシールまたは買いもの券ゲット

指導1-2: 相棒プロジェクトとポイントシステム

☆両担任が他のホームルームの授業(体力作り)に入っている時

Xさん … 担任の入っている授業に入り、
友だちと一緒に歩く。

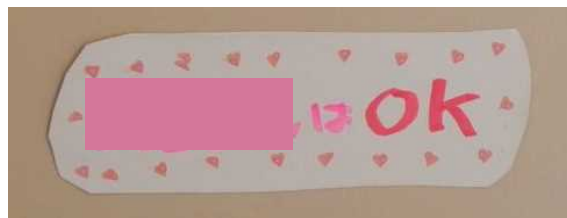
スタンプが5個集まるとミニシールゲット→
ミニシール10個目でビッグシールまたは
買いもの券のご褒美

プロジェクトを進めるための環境設定について

～トイレ・着替え・教室移動について～

☆トイレ

Xさん専用(職員トイレ)
を用意する



☆着替え

体操服の登下校に
変更する。

☆教室移動

基本的に担任と一緒に
移動する。





必要に応じて教科担任にも
依頼する。



教員がトイレや職員室に
立寄るときは待ってもらう。

記録方法と記録

**相棒プロジェクト
先生の手助けをして
買い物券をgetしろ！！の巻**

★○が5個以上つけば出川シールゲット！★
☆出川シール70枚で買い物チケット50円分ゲット

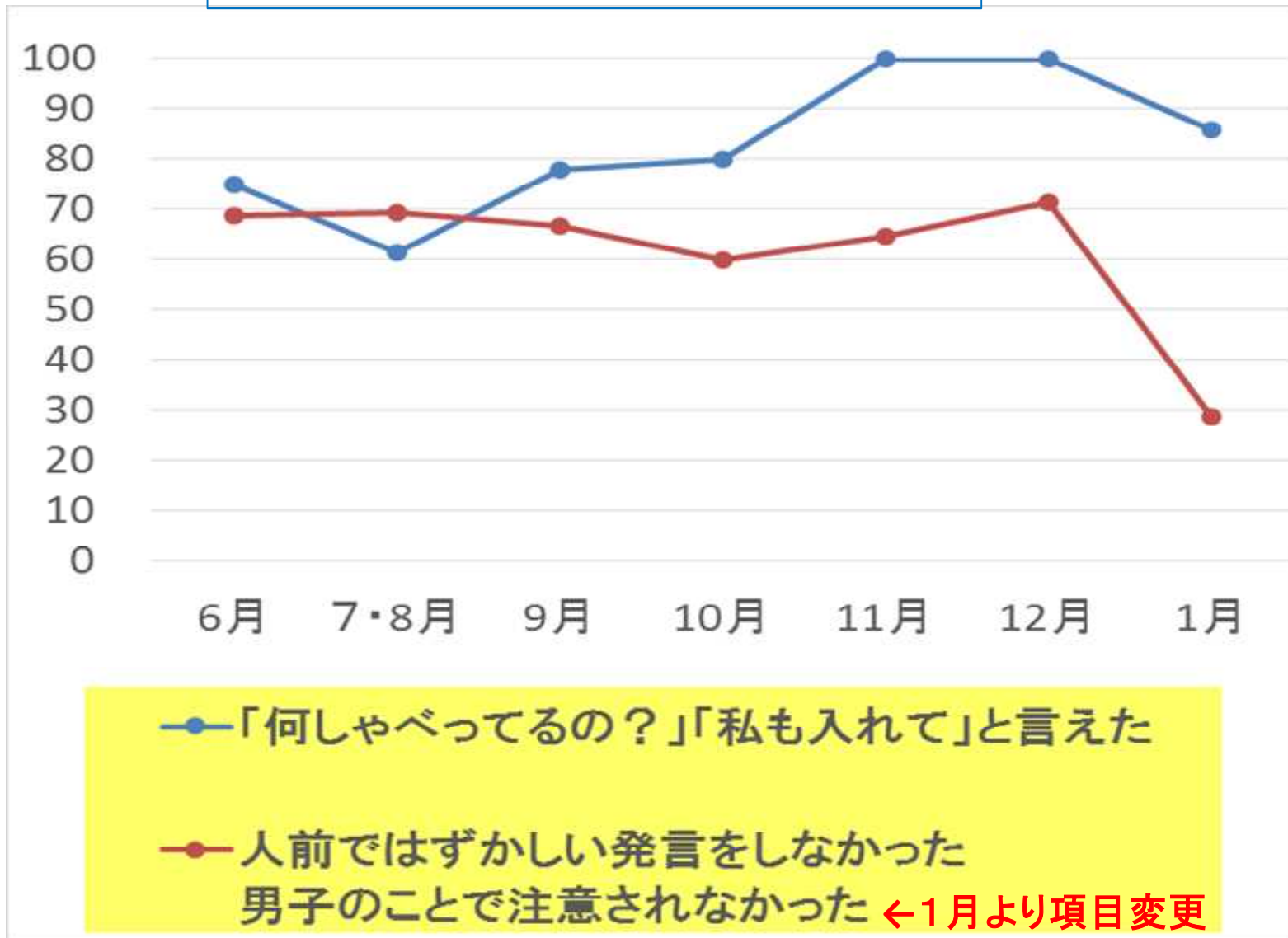
$1/19$  キレッ	$1/25$ 	 $1/26$	 $2/13$		1 出川					2 出川
					3 出川					4 出川
					5 出川					6 出川
					7 出川					8 出川
					9 出川					10 出川

お手紙にキレッ目 → スタンプ 
相棒志木目 → スタンプ 

指導1の成果

(達成率)

(%)



指導1の成果

本人の変化

- ◆問題行動が1回に減少した。
- ◆担任のいない授業でも異性にちょっかいを出すことがなくなり落ち着いてきた(たくさんの先生からの声)。
- ◆挨拶や返事がしっかりできるようになってきた。
- ◆頼まれたことを拒否することがなくなった。
(コンサルテーションを受ける前は頼み事をすると聞こえないふりをしたり、しませんでしたと言ったことが多かった。)
- ◆担任との会話(指導でなく、世間話)が増えた。

周りの変化

- ◆クラスメイトがXさんを批判することがなくなった。
- ◆Xさんと一緒に歩いている生徒の問題行動が減った。

ここが成功のポイント



- コンサルテーション初回にアドバイザーの先生に教室環境を褒めていただいた。褒められたことからコンサルテーションがスタートしたことによって教師のモチベーションが上がった。
- コンサルテーションを受ける前は「Xさんを1人にするとまた異性の所に行くけん・・・。」という理由で指導を行っていた。Xさんは「ストレスがたまります。」とよく言っていた。コンサルテーションを受けて以降、「良き相棒になろう」というプラスの目標で実践をすると楽しく続けることができた。
- 特定の人と共有する時間が増え、色々な話をしたり、一緒に時間を共有できたりしたことで気持ちも安定した。